



心を込めて 全校で準備 収穫感謝祭

5月末に植えたサツマイモの苗が、この5か月で順調に育ち、10月23日（木）に全校で芋掘り作業を行いました。子どもたちは、毎日暑い夏も水やりや草取りを一生懸命がんばり、今年もたくさんのサツマイモを収穫することができました。農園には、子どもたちの喜びの声が響き渡りました。

11月7日（金）には、毎年恒例の収穫感謝祭を開催しました。会の中では、図書ボランティアの福山さんが、絵本の読み聞かせを行ってくださいました。その後、畠立てや苗植えの指導をしてくださったJA青年部の皆さん、千刈田神楽の指導者の皆さん、毎朝校門前で見守りをしてくださる小野寺さん、図書ボランティアの皆さんに子どもたちが作成した手書きの感謝状を贈呈し、感謝の気持ちを伝えました。そして、6年生が収穫したサツマイモを使って調理した大学芋を食べました。子どもたちは、お世話になっている方々に感謝しながら、笑顔で美味しい大学芋を頬張っていました。

この収穫感謝祭は、全校に役割が与えられ、それぞれが協力して準備を行いました。6年生はサツマイモの調理、5年生は招待状と感謝状の準備、4年生は会の司会進行、3年生は会場準備、1・2年生は今年の活動を通しての感想発表を行いました。

収穫感謝祭を行うに当たり、6年生の子どもたちは作りたい料理のプレゼンを行い試作をしました。そして、必要な材料を計算し、材料購入のお願いをして、当日に臨みました。お世話になった方々、全校のみんなに喜んでもらい、大満足の様子でした。



校内全校ウォークラリー・全校遊び

10月30日(木)に予定していた全校遠足は、熊の目撃情報が増えたため、校内での全校ウォークラリーと校庭での全校遊びに内容を変更して実施しました。団毎に体育館を出発し、5年生が作った問題を取り組みながら、校内を歩き回りました。高学年の子が低学年の子に優しく声をかけながら問題を解いたり、校内を移動したりする姿が見られました。

ウォークラリー終了後は、6年生企画の「どーん、じゃんけん」「フラフープ輪投げ」のレクを楽しみました。

その後は、子どもたちが待ちかねていた「おやつタイム」。めいっぱい体を動かした後、全校のみんなで食べるおやつの味は、格別だったようです。おやつを食べた後は、団毎に今日の振り返りです。各団の結束が強まり、楽しいひとときを過ごすことができました。

全校ウォークラリー・全校遊びでは、保護者と地域の方3名にボランティアとして参加していただきました。おかげさまで安全に実施することができました。ありがとうございました。



防災について学ぶ

総合的な学習の時間に「避難場所の確認をしよう」「災害から身を守ろう」というテーマに取り組んでいる4年生。11/5(水)防災士高橋孝美さんを講師に新堀地域の自主防災組織の活動や日頃から意識しておくべき防災知識を学びました。

また、11/12(水)には県南広域振興局花巻土木センターの方々を講師に土砂災害について学びました。新堀地区は土砂災害の危険はないそうですが、大きくなつて様々な地域に出て行ったとき、学んだことを生かして、自分の命を守って欲しいとお話し下さいました



学習参観・家庭教育講座

11/14(金)は、第2回学習参観日でした。

2学期の学習の成果を見てもらおうと、子どもたちは張り切って授業に臨みました。

PTA 家庭教育講座は、石鳥谷給食センターの栄養教諭上平彩先生を講師に、「食事と健康づくりの関わり」について、お話を伺いました。食事の大切さに改めて気付かされ、「できることを少しずつ」という言葉に励されました。

この日は、午前中に5年生、6年生の親子レクもそれぞれ行われ、5年生は「スーパー竹とんぼ作り」6年生は「陶芸」に挑戦しました。

